

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年5月30日時点)

➤ 露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者46.5万人以上 (英国防省24年5月4日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、ハルキウ州 **ベレストヴェ村** を解放したと発表 (5月26日)
- 露国防省は、ハルキウ州 **イワニウカ村**、ドネツク州 **ネタイロヴェ村** を解放したと発表 (5月27日)
- 「ウ」国防相は、露が現在、**約50万人の軍人を「ウ」との国境に集中**させているほか、**20万~30万人を追加で準備**していると表明 (5月28日)
- 「ウ」軍参謀本部は、最も戦闘が活発であるのは、**クピャンスク** 及び **ポクロウシク** 方面であると発表 (5月29日)

- NATO事務総長は、英メディアのインタビューにおいて、「ウ」が自衛のために、**西側が供与した武器で露領内を攻撃することを認めるべき**である旨表明 (5月24日)。また、仏大統領は、「ウ」を攻撃している軍事施設に限り、西側が供与した武器を用いて露領土を攻撃することを容認すべきである旨表明。また、独首相も同様の旨発言 (5月28日)
- 米政権は、「ウ」に対し、**HIMARSのロケット弾**や155mm砲弾、**携行型対戦車ミサイル「ジャベリン」**等が含まれる、**2.75億ドル**相当の追加軍事支援を実施すると発表 (5月24日)
- ゼレンスキー大統領は、露が**1か月に3,000発もの滑空誘導爆弾FAB**を使用と発言 (5月27日)
- チェコ首相は、同国が主導する「ウ」への砲弾供給計画において、**数万発の155mm砲弾が6月に納入**されるとし、最初の出荷分が数日以内に届くと発言 (5月28日)
- 「ウ」空軍司令部は、スウェーデンが**「ASC890」早期警戒管制機**の供与を計画と発表 (5月29日)



- 「ウ」メディアは、「ウ」情報総局が露南部オレンブルク州オルスク市に位置する**「ヴォロネジM」早期警戒レーダー**を無人機で攻撃し、その後、自爆型無人機が目標までの**1,800km**の飛行に耐え、航続距離の**新記録**を樹立したと報道 (5月27日)
- 「ウ」当局は、露が、**滑空誘導爆弾FAB × 2発**により、多数の人が存在していた**民間商業施設**を攻撃し、29日時点で19人が死亡と発表 (5月25日、29日)